

IV 家計資産

1 概況

平成26年11月末日現在の二人以上の世帯の家計資産(純資産)は、1世帯当たり3707万円で全国第6位となり、平成21年と比較すると198万円(+5.6%)の増加となっている。

これを家計資産の種類別にみると、「宅地資産」が1603万円(家計資産に占める割合43.2%)と最も多く、次いで「金融資産(貯蓄-負債)」が1379万円(同37.2%)、「住宅資産」が565万円(同15.2%)、「耐久消費財等資産」が159万円(同4.3%)となっており、平成21年と比較するといずれも増加している。(図24、表16、表17)

図24 家計資産の種類別1世帯当たり家計資産(二人以上の世帯)

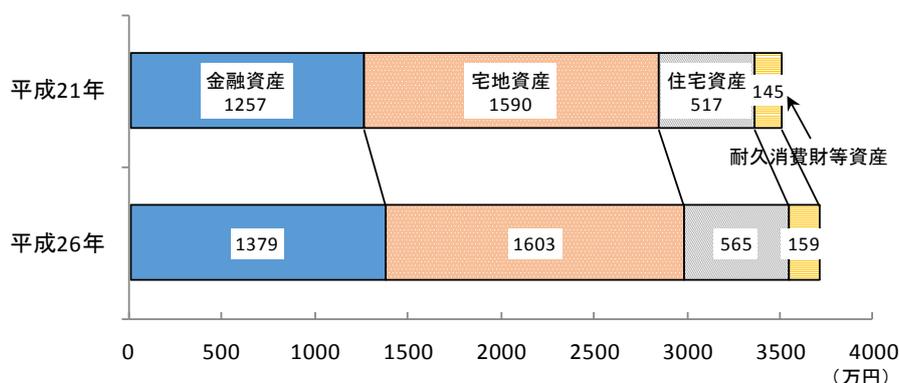


表16 1世帯当たり家計資産の内訳

(二人以上の世帯)

項目	福井県						全国	
	平成21年		平成26年		増減率 (%)	上昇・低下幅 (ポイント)	平成26年	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)			実数	構成比(%)
世帯主の平均年齢(歳)	55.3	-	57.5	-	* (2.2)	-	57.3	-
平均世帯人員(人)	3.33	-	3.33	-	* (0.00)	-	3.03	-
宅地保有率(%)	87.6	-	91.0	-	** (3.4)	-	80.2	-
住宅保有率(%)	92.1	-	94.7	-	** (2.6)	-	83.7	-
家計資産(万円)	3509	100.0	3707	100.0	5.6	-	3491	100.0
金融資産(貯蓄-負債)	1257	35.8	1379	37.2	9.7	1.4	1039	29.8
貯蓄現在高	1684	48.0	1835	49.5	9.0	1.5	1565	44.8
負債現在高	-427	-12.2	-457	-12.3	7.0	-0.1	-526	-15.1
実物資産	2252	64.2	2328	62.8	3.4	-1.4	2452	70.2
住宅・宅地資産	2107	60.0	2169	58.5	2.9	-1.5	2324	66.6
宅地資産	1590	45.3	1603	43.2	0.8	-2.1	1832	52.5
住宅資産	517	14.7	565	15.2	9.3	0.5	492	14.1
現住居・現住居地	1707	48.6	1745	47.1	2.2	-1.5	1939	55.5
宅地資産	1253	35.7	1253	33.8	0.0	-1.9	1527	43.7
住宅資産	453	12.9	492	13.3	8.6	0.4	412	11.8
現住居・現住居地以外	401	11.4	423	11.4	5.5	0.0	385	11.0
宅地資産	337	9.6	350	9.4	3.9	-0.2	305	8.7
住宅資産	64	1.8	73	2.0	14.1	0.2	80	2.3
耐久消費財等資産	145	4.1	159	4.3	9.7	0.2	128	3.7
耐久消費財	141	4.0	151	4.1	7.1	0.1	117	3.4
会員権	4	0.1	9	0.2	125.0	0.1	12	0.3

*は平成21年との差、**は平成21年とのポイント差

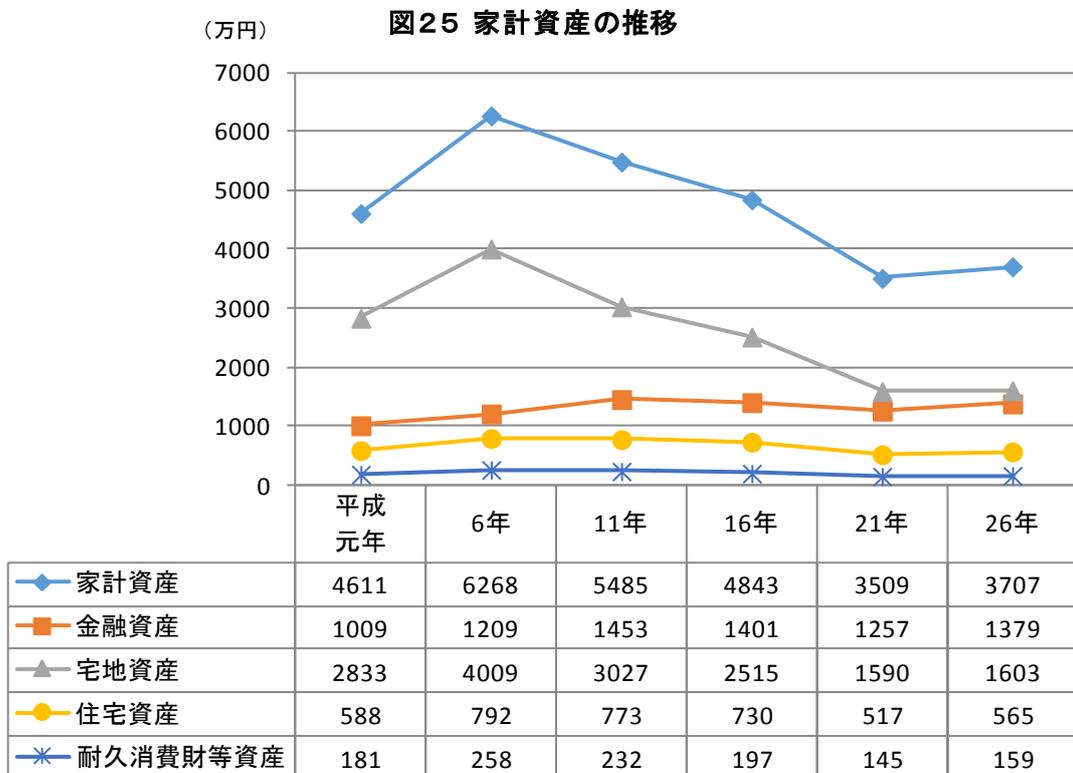
表 17 都道府県別 1 世帯当たり家計資産 (二人以上の世帯)

順位		資 産 額 (万円)					地域差※
		家計資産	金融資産	宅地資産	住宅資産	耐久消費財等資産	
	全 国	3491	1039	1832	492	128	100.0
1	東 京 都	6058	1195	4089	642	133	173.5
2	神 奈 川 県	4518	1198	2681	509	129	129.4
3	愛 知 県	4488	1281	2401	643	163	128.6
4	埼 玉 県	3813	1036	2095	555	127	109.2
5	奈 良 県	3713	1353	1785	434	141	106.4
6	福 井 県	3707	1379 (3)	1603 (10)	565 (6)	159 (3)	106.2

※全国平均 (3491万円) = 100として換算

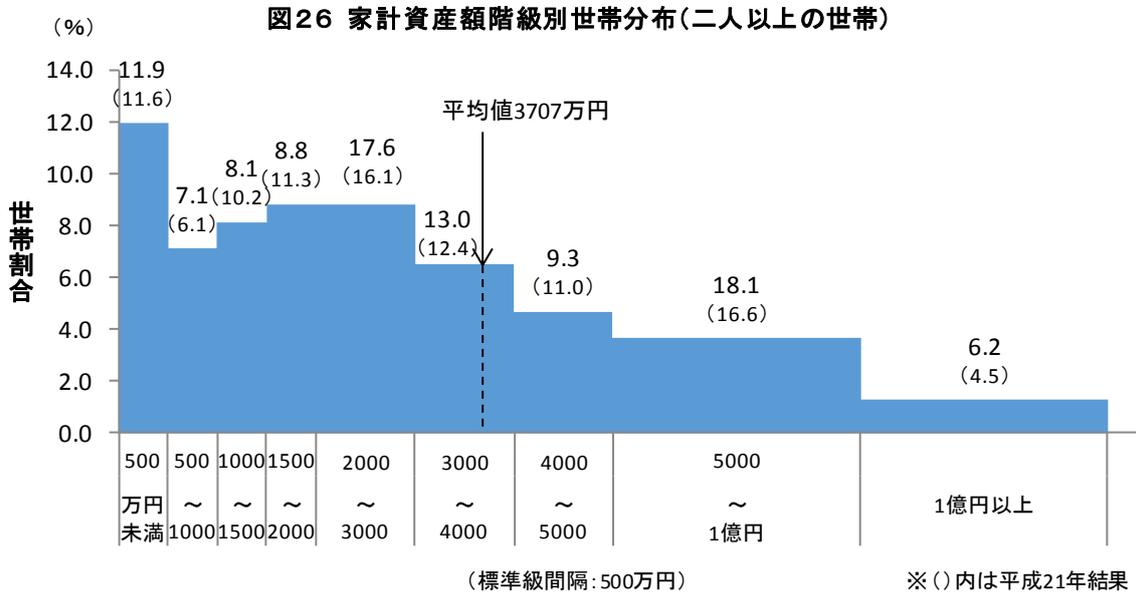
()内は資産ごとの全国順位

福井県の家計資産の推移をみると、平成 11 年以降減少傾向にあったが、平成 26 年に増加に転じている (図 25)。

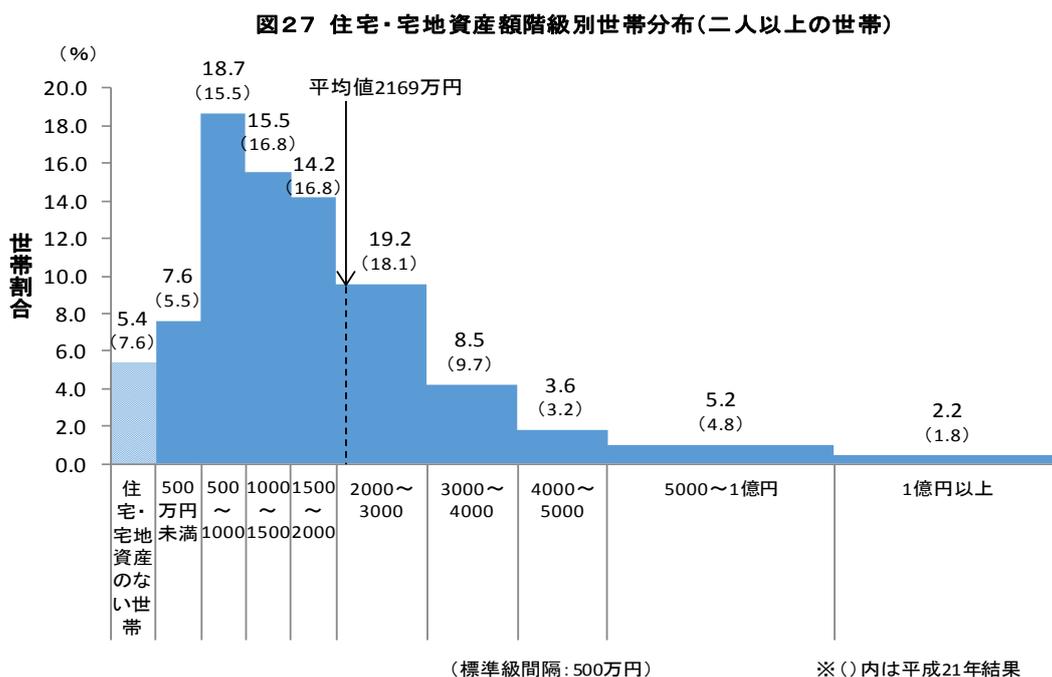


2 世帯分布

二人以上の世帯について、家計資産額階級別（標準級間隔 500 万円）の世帯分布をみると、1 世帯当たり家計資産は平均値 3707 万円となっている（図 26）。



二人以上の世帯について、住宅・宅地資産額階級別（標準級間隔 500 万円）の世帯分布をみると、1 世帯当たり住宅・宅地資産は平均値 2169 万円となっており、平均値を下回る世帯が全体の 6 割以上（住宅・宅地資産を保有していない世帯を含む）を占め、資産額の低い階級に偏った分布となっている（図 27）。



二人以上の世帯について、耐久消費財資産額階級別（標準級間隔 50 万円）の世帯分布をみると、1 世帯当たり耐久消費財資産は平均値 159 万円となっており、平均値を下回る世帯が全体の 6 割以上を占め、資産額の低い階級に偏った分布となっている（図 28）。

